



垂水風土記 **パート3** 大森亮尚・先生

あきひさ



古代民族研究所 代表

あきひさ

大森亮尚 先生

ふる年に春立ちける日よめる
年のうちに 春は来にけり一とせを
去年とやいはむ 今年とやいはむ
『古今和歌集』巻頭歌 在原元方

天平宝字元年(七五七)十二月二十三日
月読めば いまだ冬なり しかすがに
霞たなびく 春立ちぬとや
『万葉集』四四九二 大伴家持

東風吹かば にほひおこせよ梅の花
あるじなしとて 春を忘るな
『拾遺集』 菅原道真

吹き返す 東風の返しは 身にしみき
都の花の しるべと思ふに
『後拾遺集』 康資王母

垂水風土記



平磯灯台の歴史
文久二年(一八六二) 四月二十三日
寺田屋事件
五月一日 田中河内介父子、船内で暗殺
垂水沖合の海に遺体を投棄
五月二日 小豆島福田に父子の遺体漂着
文久三年(一八六三) 一月二十四日
島津藩船・永平丸、平磯沖で座礁沈没
慶応三年(一八六七) 大政奉還
坂本龍馬死亡
明治十一年(一八七八) 五月十四日
大久保利通暗殺
明治十四年(一八九二)
田中河内介に贈正四位・龍馬にも
明治十六年(一八九三)
平磯沖に灯台建立

明治三十七年(一九〇四) 日露戦争
大正六年(一九一七) 十一月ロシア革命
サマセット・モーム諜報部員として
アメリカから日本経由でロシアに潜入
(横浜→米原→敦賀→ウラジオストク)
神戸・塩屋・垂水に立ち寄るか?
大正七年(一九一八) 七月十二日
東京日本橋の画廊で怪談話会
十月スペイン風邪大流行
大正十二年(一九二三) 九月
関東大震災
大正十三年(一九二四) より
モーム『コスモポリタンズ』連載
『困ったときの友』執筆
昭和十一年(一九七六)
ロッキード事件 首相と丸紅専務
平成三十年(二〇一八) 二月 百年ぶり
暁子で田中河内介の聖炎話会

